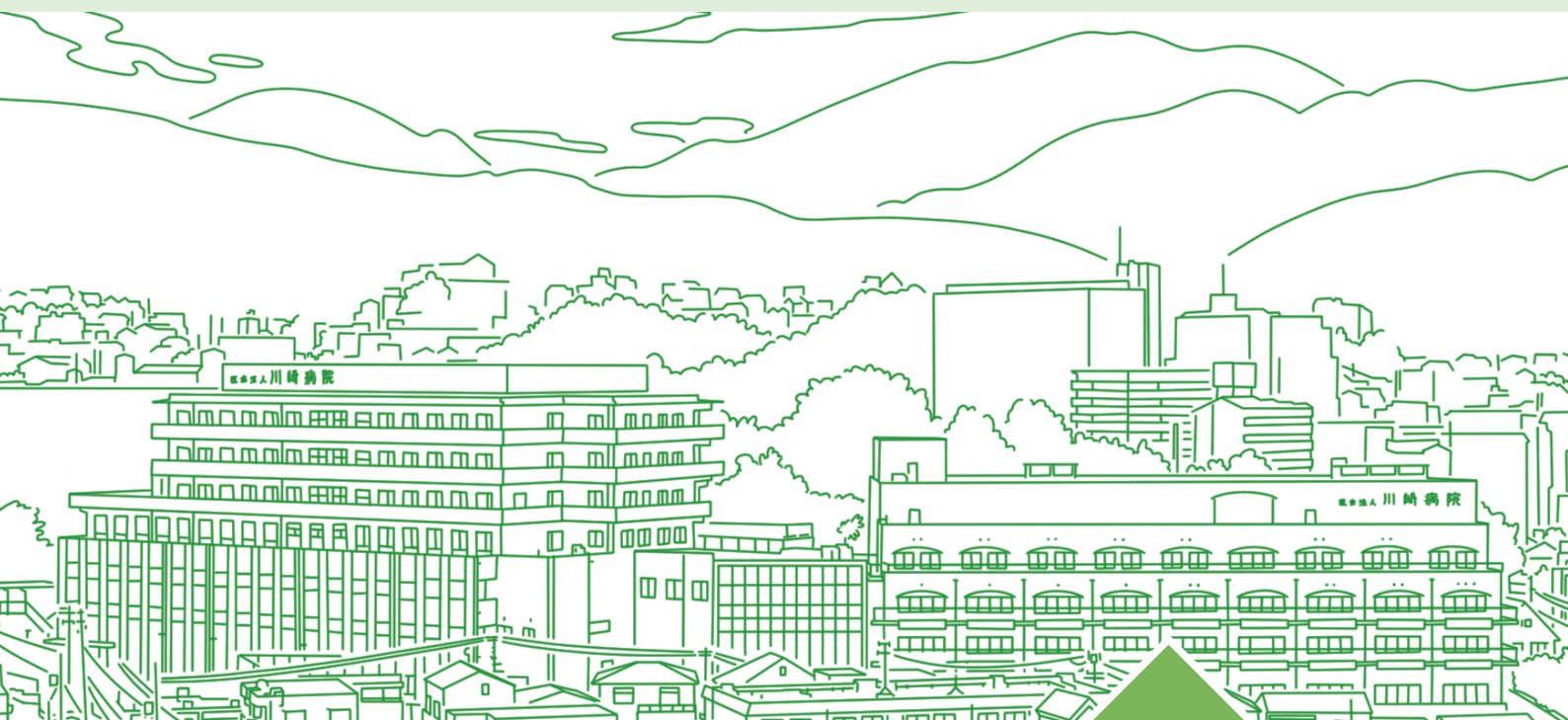


川崎病院通信



TOPICS

特集

骨折・変性疾患・神経障害のエキスパートが挑む！

◆INFORMATION

- ・レスパイト入院のご案内
- ・医療従事者向けセミナー「Kawasaki Lecture Tour」のご案内

◆専門特殊外来のご紹介

- ・ヘルニア外来
- ・心不全外来

*Beyond Boundaries,
Buiding the New Era!*

特集

骨折・変性疾患・神経障害の エキスパートが挑む！



整形外科 主任部長
常深 健二郎
専門分野：手外科疾患



整形外科 副医長
寛田 佑介
専門分野：変形性膝関節症

変形性膝関節症

正常の膝関節の表面は軟骨で覆われていますが、加齢、肥満、O脚などの変形が原因で関節の軟骨がすり減り摩耗していきます。

その軟骨の破片が滑膜を刺激して関節炎を起こし痛みを生じ、関節内に水が溜まったりします。

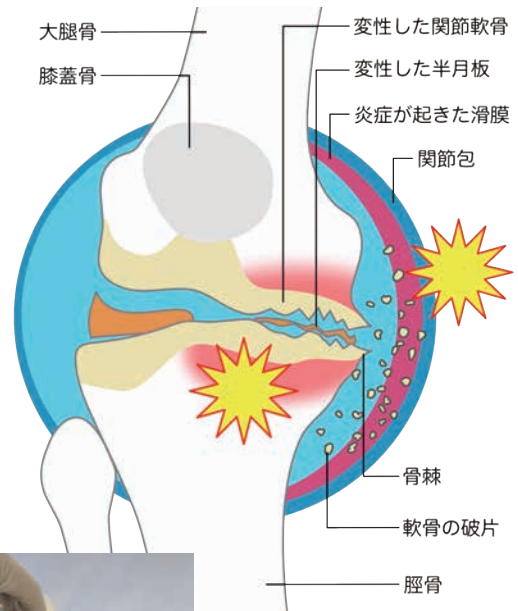
さらに軟骨の摩耗が進行すると骨が剥き出しになり骨と骨が接触し強い痛みを生じ、膝関節の曲げ伸ばしがしにくくなってきます。

そういった要因から歩行がしづらくなり日常生活が不自由になっていきます。

治療としては、内服・湿布等で疼痛コントロールを行ないます。また大腿四頭筋を鍛えることで疼痛を緩和する効果もあります。その他にも足底板(インソール)で膝の負担を減らしたり不安定性がある場合には膝のサポーターを作成したりすることもあります。

このような保存療法でも痛みの改善が乏しい場合には手術療法となります

手術療法には骨切り術、人工関節置換術があり、当院では人工関節置換術を行っております。人工関節置換術は大腿骨、脛骨の骨切りを行い、骨を整え人工の関節に置き換えるものです。当院ではより正確な骨切りを行うため、コンパクトなナビゲーションシステムを用いて短時間での精度の高い測定を行い手術することで、患者さんのQOL向上に努めています。術後はリハビリ加療が重要となるためリハビリスタッフと連携して総合的に治療を行っていきます。



ナビゲーションシステムを膝に取り付け、骨の位置情報を読み取ります。

上肢疾患

手外科では、イラストにあるように肘から手指の範囲で生じる外傷や変性(加齢による変化)疾患、先天性の変形などを扱っています。

当院では日本手外科学会認定の手外科認定研修施設



として登録されています。当科では手外科専門医が在籍して手外科外来を予約制で金曜日に診察を行っています。主な疾患としては骨折(手指・手部・前腕・肘)や手根管症候群や肘部管症候群などの神経障害、手指・手の変形性関節症(ヘバーデン結節、ブシャール結節、母指CM関節症)、ばね指・ドケルバン病・テニス肘などの炎症性疾患です。疾患によっては保存的治療を行い、手術が必要な場合は局所麻酔での日帰り手術や全身麻酔で手術を行っています。

手外科における代表疾患について詳しくは日本手外科学会のホームページを御覧ください。

(<https://www.jssh.or.jp/ippan/index.html>)



ぜひ当院にご相談ください！

レスパイト入院のご案内

川崎病院は、当院独自の「救急総合ケアシステム」の構築を目指しています。

救急総合ケアシステムは、救急・在宅・入院が一体となって地域の方々を支えていくシステムのことです。地域の皆さんが、住み慣れた場所で安心して暮らすことができるよう貢献していきたいと考えています。在宅での介護が一時的に困難になった場合など、レスパイト入院の必要があればご相談下さい。



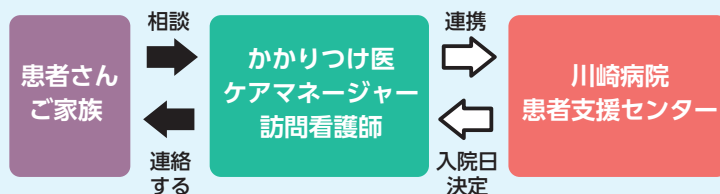
◆対象の方

- 人工呼吸器を装着されている方
- 気管切開をされている方
- 胃ろうや腸ろうなどの経管栄養、中心静脈の方
- 自立歩行や排泄が困難な方
- 介護保険によるショートステイの利用困難な方

そのほか、上記以外であっても入院希望の方はご相談ください

◆入院までの流れ

患者さん・ご家族の方から相談があり、入院の必要があれば、空き状況を確認しますので当院へご連絡ください。受け入れが決まりましたら、必要書類をFAXにて送付していただきます。



医療従事者向けセミナー 「Kawasaki Lecture Tour」の案内

当院は地域医療支援病院です。

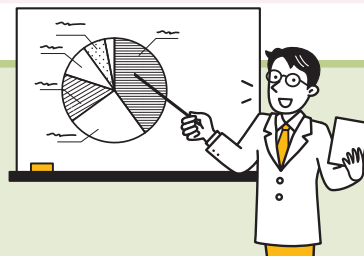
その承認要件のひとつとして、地域の医療従事者向けに研修を行うことが求められています。

その取り組みとして、患者支援センター・地域医療連携室の主催で医療従事者向けセミナー「Kawasaki Lecture Tour」を開始することになりました。

レクチャーには様々な意味がありますが、その中でも「口頭で詳しく説明する」という意味で、地域の皆さまに川崎病院のことを“より深く”理解していただけるように、多職種の職員から専門的なセミナーを実施しています。講演によっては会場とweb視聴でのハイブリッド開催をしております。

参加の申し込みは地域医療連携室までぜひお声がけください。また、ご興味のある分野・ご視聴にになりたい内容がありましたら連絡ください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。



次回 開催日程

講演演題	「肥満とダイエットのはなし～ふとっていても大丈夫?～」
講師	副院長 内科総括部長 松田 守弘
日時	7月25日 (木) 17:30~18:30
場所	川崎病院 西館5階 第1会議室

専門特殊外来のご紹介

ヘルニア外来

ヘルニアとは臓器や組織が本来あるべき場所から逸脱することで症状が起こる疾患の総称です。

ヘルニア外来では、鼠経ヘルニア、臍ヘルニア、腹壁癒痕ヘルニアなどを専門に診療しております。

ヘルニアは、自然治癒することではなく、悪化すると命に関わることもあります。

治療法は手術によるヘルニアの修復となりますが、当院では、患者さんの状態や症状、希望に合わせた最適な治療を行っております。また以前に治療した経験があっても、症状が再燃している方に関しても、紹介いただけましたら診察させていただきます。

診察日：毎週水曜日

13：30～15：30

担当医師：外科部長 梶原 淳

診療対象：・お腹に不快感や痛みがある。

・立った時やお腹に力を入れたとき、お腹に柔らかい腫れを感じる。

・腫れが急にかたくなり、指で押さえても凹まなくなる（この状態を嵌頓（かんとん）と言います）。この場合は緊急手術が必要です。

心不全外来

新設
6月より
開始

心不全の治療は、レントゲンや心エコー図検査などの画像診断や血液検査に基づいた薬物療法や外科的治療のみでは不十分な場合があります。

当院の心不全外来では、食事療法や運動療法に加えて、生活環境への介入など多面的なアプローチをはじめ、外来心臓リハビリテーションを実施するなど包括的なアプローチを行います。

また、心肺運動負荷試験を実施して個々の患者さんの運動耐容能を測定して治療効果の判定や、必要に応じて入院精査を行ったりと、個々の患者さんに適した治療を行います。

治療の経過では、治療方針（投薬）の見直しや、病状の変化に伴う原因を調べることも行います。

診療日：毎週火曜日

14：00～15：30

完全予約制

診療対象：・心不全の治療を行っているが症状がなかなか改善しない。

・食生活の改善や運動の実施など生活習慣の見直しが現在の治療に加えて必要。

・運動療法は必要であるが、運動することに不安がある、または不安定な状態である。

専門外来（これまでの掲載）

川崎病院通信のバックナンバーはこちら▼

●糖尿病連携外来 2024年2月発行 Vol.42

●肥満症外来 2024年4月発行 Vol.43

●認知症検診外来 2024年4月発行 Vol.43

●膠原病リウマチ外来 2024年4月発行 Vol.43



●ご予約について

地域医療連携室にお電話、もしくは診療情報提供書をFAXでご送信ください。20分以内に予約票を返送いたします。患者さんへ予約票と診療情報提供書をお持ちのうえ、ご来院いただきますようお願いください。

●ご予約受付時間 平日 8：30～18：30（木曜日は17：00まで）

※診療時間とは異なります 土曜日 8：30～12：40（第1・3・5のみ）

TEL：078-511-3133

（地域医療連携室直通）

FAX：078-511-3297



診療予約・検査予約に関するページはこちらのQRコードからご覧いただけます。



医療法人 川崎病院

KAWASAKI HOSPITAL

神戸市兵庫区東山町3-3-1

TEL：078-511-3131（代表）

発行責任者：病院長 西村 元延
編集責任者：広報室 岩屋 裕之